

# 「EUと協力強化を」

## 駐日欧州委参事官が提言

高松

駐日欧州委員会代表部参事官で日欧産業協力センター事務局長のジュリアン・ゲリエ氏(40)はフランス出身。1日、高松市内のホテルで講演し、産業分野における日本とEUの関係について「競争から協

力し合う時代に入った」と相互の関係強化を呼び掛けた。講演会は、EUへの理解を深めてもらうと、香川EU協会と香川経済同友会が毎年開催。今年は「日欧産業協力の推進について」と題し、香川EU協会の会員ら約40人が参加した。ゲリエ氏は、日本とEUについて「近年、グローバル化や高齢化、中国やインドの台頭による国際競争の激化など共通の課題が増えている」と強調。それに伴い、日欧産業協力センターの目的も「貿易や投資関係のバランス改善などから、双方の政策分析や対話推進など協力関係構築に変わってきた」と説明した。

「お互いの強みを生かして協力を深めることが重要」と訴えるゲリエ氏(高松市内)

そうした目的に対する取り組みとして、双方の主要な財界人による日本政府や欧州委員会への提言、双方のビジネスマンや学生に対する人材研修などを紹介。「世界経済の中で競争力を保つため、今後も産業や人材など互いの強みを生かして協力を深めることが重要」と締めくくった。ゲリエ氏はこの日、県庁に真鍋知事を表敬。講演に先立ち、香川EU協会の総会にも出席した。



「お互いの強みを生かして協力を深めることが重要」と訴えるゲリエ氏(高松市内)